

連続真空採血によるコンタミネーションの程度と血液検査測定値への影響

① 対象

2014年2月27日から2015年3月31日までの、当院にて採血依頼のあった検査終了後の残余血清および血漿のプール化したもの
公募による健康人

② 研究機関名

大阪大学医学部附属病院 臨床検査部

③ 目的

連続真空採血による抗凝固剤のコンタミネーションの程度と血液検査測定値への影響についての究明

④ 方法

連続真空採血によるコンタミネーション量の推定：高感度オレンジG色素と翼状針と真空採血管を用い、採血管を採血ホルダーに挿入したまま転倒混和することで、次の採血管にコンタミネーションする量を推定した。
血液検査におけるクエン酸Na、EDTA-2Kおよびフッ化Naの影響：コンタミネーション量に相当するクエン酸Na、EDTA-2Kおよびフッ化Naを、不承諾書の提出の無い残余血清のプールに添加し、各検査項目を測定する。
確認試験：実際の採血（同意書を得た公募健康人10～20名ほど）にて確認試験を行う。

⑤ 意義

連続真空採血における次の採血管にコンタミネーションする量を実験的に検証し、さらに、その混入量が血液検査測定値にどの程度影響するのかクエン酸Na、EDTA-2Kおよびフッ化Naを用いて検討を行う。この研究結果から、より正確な測定値が得られる採血管順序および採血手技の確立に貢献できる。

⑥ 個人情報の取り扱い

対象検体の検体採取管ラベル部分（患者情報部分）を剥がし、患者個人情報を削除し、変わりに新しく符合を付けて匿名化を行い、符合と患者情報を結びつける対応表などは一切作成しない。

⑦ 問合せ先

大阪大学医学部附属病院 臨床検査部
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2番15号

本研究は、残余検体を使用することから侵襲性がなく、かつ不承諾書の提出がない検体に限定して実施することから、臨床検査部ホームページで公開することで、同意省略にて研究を実施することを倫理審査委員会から許可を得ています。また公募健康人についてはご本人の同意を得た上で研究を実施することを倫理審査委員会から許可を得ています。